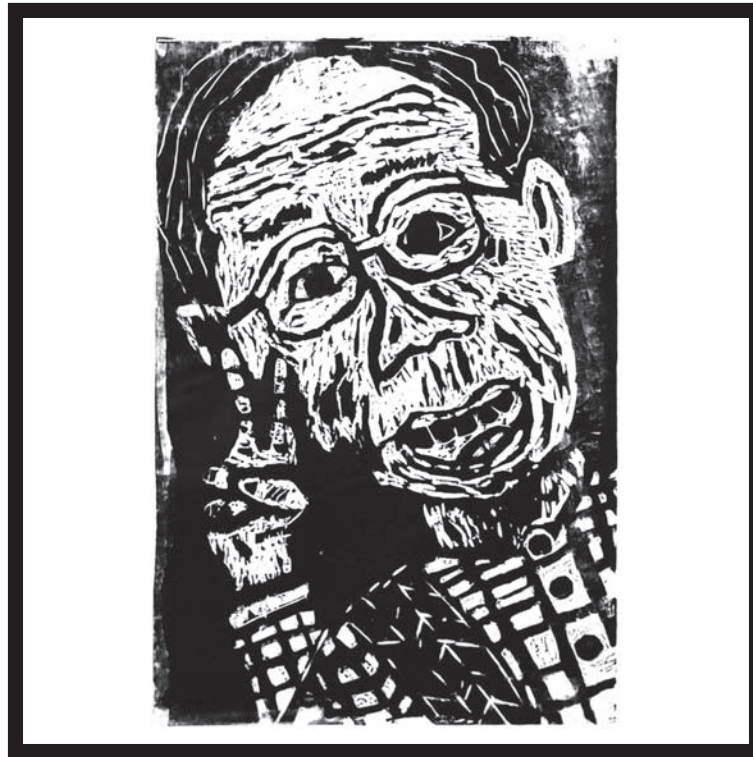


第24回 田善顕彰版画展

《田善賞 小学生の部》



《講評》「ぼくの大好きなひいおじいちゃん」題名の通りに心をこめてひいおじいさんを表現しただけあって、やさしそうに描かれている。また元気に力強く生きぬいてきたという感じも伝わってくる作品である。

「ぼくの大好きなひいおじいちゃん」

須賀川市立第三小学校 4年 須藤 雄哉

《田善賞 中学生の部》



《講評》デジタルカメラの写真をコンピュータで画像処理したものを下絵に使った木版画です。明暗のバランスや構図の安定感が優れているだけでなく、自由に彫った背景や友達の何気ないしぐさのとらえ方が秀逸で完成度の高い作品になりました。

「悩みの種」

須賀川市立第三中学校 1年 小貫 峻輔

第24回 田善顕彰版画展

《最優秀賞 小学生の部》



《講評》「ザリガニ見つけたよ」ザリガニを両手で持ちあげ、見つけた時の喜びを画面いっぱいに表現している。紙版画の大ざっぱな表現が、表現内容を生き生きと盛り上げている。

須賀川市立長沼小学校 2年
木村 康佑

《最優秀賞 小学生の部》



《講評》仲良しの友達なのか、両手をほおづえにしているポーズがいかにも気を許し合っている仲間という感じが表れている。一板多色刷り版画の特質を生かした重厚な感じの作品である。

須賀川市立第二小学校 6年
車田 咲希

《最優秀賞 中学生の部》



《講評》自画像にお気に入りのモノたちを組み合わせたのでしようか。自由に想像力を羽ばたかせた画面が見る者の興味をかきたて、いつまで見ても飽きさせません。素晴らしい発想力と構成力です。

須賀川市立大東中学校 3年
熊田 七虹

《最優秀賞 中学生の部》



《講評》教室の入口にたたずむ友達。遠近法を使って表現した教室の奥行き感や、力を抜いて腰かけた友達のごくさ等、よく考えられた構図で、放課後の学校の情感がうまく表現されています。

須賀川市立稲田中学校 1年
馬場 崇志

第24回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



《講評》「火にまきを入れる自分」キャンプに行った時の思い出。火の熱さをこらえるように火ばしで薪をはさんでいる様子がうまく表現されている。特に顔の表情が如何にも真に迫る迫力、画面全体の暗さが効果的である。

須賀川市立仁井田小学校 5年
松本 眞空

《優秀賞 小学生の部》



《講評》「大玉ごろりん」運動会の思い出だろうか。2人組で大玉を転がしている様子が如何にも真剣で動きがあって生き生きしている。紙版画の版材を上手に使いこなして動きのある表現が工夫されている。

須賀川市立第一小学校 2年
角谷 里音

《優秀賞 小学生の部》



《講評》「カマキリがおそってきた」カマキリを画面いっぱいにして他の小さな虫たちを襲う様子が描かれている。空想と現実をおりまぜた3年生らしい表現である。ローラーを利用した空と地面の青と緑、それに赤い太陽が効果的である。

須賀川市立第一小学校 3年
伊藤 陸斗

《優秀賞 小学生の部》



《講評》自分たちで育てたヘチマの収穫だろう。画面いっぱいに描かれたヘチマを両手で抱え、その喜びが力強く表現されている。作者の気持ちがよく伝わってくる作品である。4年生にしては彫刻刀の使い分けも上手である。

須賀川市立長沼小学校 4年
佐藤 生吹

《優秀賞 小学生の部》



《講評》「お茶を飲むおじいちゃん」穏やかな表情でお茶を飲んでいる白髪の表現が上手で、いかにも「おじいちゃん」という感じが表現されている。4年生で彫刻刀の使い方にもまだ慣れていないのに、刀の使い分けが効果的である。

須賀川市立第三小学校 4年
永瀬 愛

《優秀賞 小学生の部》



《講評》二匹の犬を画面いっぱいに並べて正面を見ている。背景の青色や赤色、緑色の配置が効果的に表現され工夫が見られる。大好きな犬を題材にしているところが成功のカギである。

須賀川市立第一小学校 3年
三本松 まゆ

第24回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



《講評》小さくなった「わたし」がインコに乗って、シャボン玉舞う空を飛んでいる、という空想の世界でしょうか。インコの顔や羽根がとても丁寧に描写されています。構図や色のバランスも上手です。

須賀川市立白江小学校 5年
宇佐神 彩子

《優秀賞 小学生の部》



《講評》星の瞬く夜空を、煙を上げながら走る銀河鉄道。列車が画面全体を大きく斜めに横切る構図によって、空をかけるほっといく動きが良く表現されています。色数をあえて少なく押さえている点や、画面全体の輪郭が雲のような形になっている点も独特の雰囲気を出しています。

須賀川市立小塩江小学校 2年
佐久間 康平

《優秀賞 小学生の部》



《講評》「茶臼岳に登る私」遠足の思い出を版画にしたのだろう。画面から伝わってくる感じは寒さや風の強い印象である。2人の人物が両手を口元に当てて寒さをしのいでいるようである。白黒のバランスがよく配慮された秀作である。

須賀川市立仁井田小学校 5年
佐藤 舞白

《優秀賞 小学生の部》



《講評》風船遊びの楽しさが画面いっぱいに表現されています。指を広げた手の表情や、ペットの猫ちゃんもとても丁寧に描かれています。人物、風船、猫といった要素の配置やバランスもよく考えられた作品です。

須賀川市立西袋第二小学校 1年
和田 彩花

第24回 田善顕彰版画展

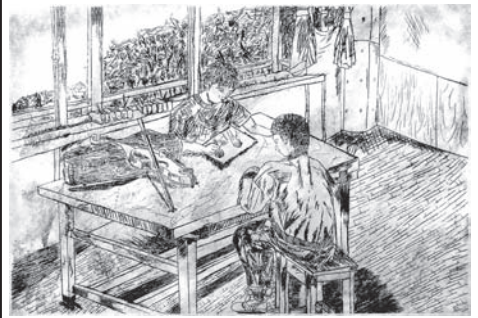
《優秀賞 中学生の部》



《講評》パワーあふれる力強い作品ができましたね。人物が躍動するサッカーの瞬間をねらって表現しています。彫刻刀を自由自在に用いることができたと思います。白と黒のバランスがよかったと思います。

須賀川市立仁井田中学校 1年
小島原 大地

《優秀賞 中学生の部》



《講評》放課後の教室でのひとこま。窓から差し込む午後の日差しと、思い思いに自分の仕事に熱中している友人たちの様子。静かで暖かな空気が伝わってきます。

須賀川市立小塩江中学校 2年
安藤 翼

《優秀賞 中学生の部》



《講評》濃淡2色によるバランスの良い版づくりができています。内容表現がよく出来たと思います。彫刻刀の用い方も素晴らしいと思います。

須賀川市立第三中学校 1年
橋本 希莉奈

《優秀賞 中学生の部》



《講評》じっとこちらを見ている猫を巧みに把えて表現しています。彫刻刀の三角刀を中心に細部にわたって表すことができました。黒と白のバランスもよく出来たと思います。

須賀川市立仁井田中学校 1年
佐藤 夏美

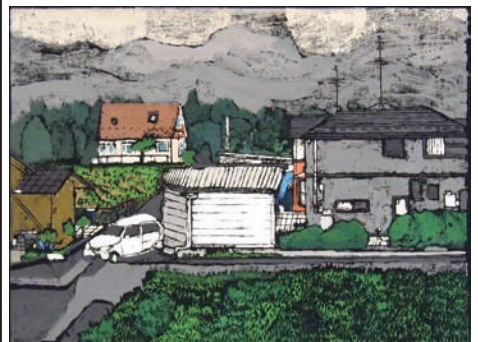
《優秀賞 中学生の部》



《講評》2色刷の木版画でバランスの良い表現をしています。モデルの友達のポーズをよくとらえています。手の大小、奥行きバランスがとてもよいと思います。

須賀川市立第三中学校 1年
荒 佑也

《優秀賞 中学生の部》



《講評》一版多色による表現を徹底した細やかな彫りと刷りでよくできたと思います。田園の中に建つ住宅の雰囲気を見事に把えている秀れた作品と言えます。

須賀川市立稲田中学校 1年
梅津 修也

第24回 田善顕彰版画展

《優秀賞 中学生の部》



《講評》一版多色版画の技法をよく表していると思います。田舎の寺院のたたずまいをよく表現できたと思います。あまり色数も多く用いなかったのが、かえって効果的だったとも言えます。

須賀川市立稲田中学校 1年
常松 奈々子